

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	医療連携等、グループホームの強みとともに地域密着型サービスの意義を盛り込んだ、独自の理念を掲げることでさらなる役割を期待したい。	グループホームの役割に合った独自の理念の作成。	以前の「地域の中で自分らしさを保ちながら、安心した生活の支援」を再度理念として掲げる。	1 か月
2	6 (5)	外部・内部の研修への参加を通し現状に即した理解とケアに期待したい。	外部・内部研修への参加できる体制作り。	人員確保に努めるとともに、現状では内部研修を行いケアの向上を図る。	6 か月
3	49 (18)	家族や地域の方々との協力も視野に入れた体制作りや、規模の大きさに関らず気分転換や楽しみになるよう、戸外に出かける機会が増えることを期待したい。	気軽に戸外へ出かけることのできる環境作り。	余暇の時間を用い規模・行先等にとらわれず、敷地内で短い時間でも外出の機会を作る。	6 か月
4	52 (19)	観葉植物などのグリーンや調度品、インテリアを工夫することで、家族や入居者同士の会話のきっかけや楽しみにつながるような空間作りに期待したい。	自然にお互いが会話やコミュニケーションを取れる空間作り。	季節の植物や、行事の予告や写真などを目に入るように配置する。	6 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。